人間関係講座（グループ）第82回［春］

-グループの中での人間関係の理解のために- 基礎コース

担当者	津村　俊充（南山大学人文学部心理人間学科名誉教授） 中尾　陽子（南山大学経営学部准教授）
概要	この講座は、「体験学習」という方法を用いて、グループの人間関係について学んでいくものです。ラボラトリー方式の体験学習の入門講座として設定しています。１つの講座は２日間のプログラムで構成しています。 私たちは、会社や組織、家族や仲間関係など、常にグループの中に身を置いています。「グループの中の人間関係は複雑で難しい」ということをよく聞きます。その理由の１つとして、グループで何らかの仕事や課題に取り組む場合に、話や課題の内容（コンテント）に夢中になり、他者の気持ちやお互いの関係（プロセス）に目が向けられず、いつの間にかお互いの思いにズレが生じることが考えられます。 この講座は、以下の学習目標に向けて実施します。 ①グループの中で他者と関わる自分の特徴に気づく ②「コンテント」と「プロセス」とは何かを理解する ③グループの中での人間関係（グループプロセス）に目を向ける重要性に気づく この講座では、ラボラトリー方式の体験学習を用いた実習（典型的な実習）と、グループに関する理論の小講義によって学習を深めていきます。グループの人間関係について理解を深めたい方、ラボラトリー方式の体験学習について知りたい方など、さまざまな方にお勧めです。 なお、この講座（または過去の人間関係講座＜グループ＞）を修了された方を対象に、グループの人間関係をさらに深く学ぶための「グループプロセス応用講座」が開催されます。（詳しくはこちらをご覧下さい
日程	2011年 6月11日（土）10：00～18：00 6月12日（日）9：00～17：00　土日集中
定員	36名
参加資格	（※１）この講座は、ラボラトリー方式の体験学習を初めて受講される方を対象としたプログラムです。 （※２）[初回者優遇措置講座]：昨年度実施された人間関係講座（ｸﾞﾙｰﾌﾟ）を修了された方はお申し込みいただくことができません。ご了承下さい。
会場	南山大学　名古屋キャンパス　Ｄ棟
受講料	11,200円（税込）
メルマガ 講座報告	担当講師　津村 俊充　記 第82回人間関係講座（グループ）は6月11日(土)12日(日)と2日間で開催されました。参加者は、全国から35名が南山大学に来てくださいました。 初日プログラムは、開会で参加者一人ひとりのねらいづくりを行うとともに、「コンテントとプロセス」の理解を深めていただきました。その後、2種のグループワークを通して、体験から学ぶこと、お互いにフィードバックを通してメンバーとグループの成長に取り組むことを実践しました。 二日目は、グループプロセスの視点の小講義の後、新しいグループに分かれ、昼食をはさみ、一日目と異なる2つのタイプのグループワークを体験しました。 メンバーとしてのグループの目標を達成する働きとグループの関係を形成・維持する働きを理解し実践するとともに、グループプロセスを大切にしながらコンセンサス(合意)を形成することにも挑戦しました。 参加者の方々におかれては、大きな葛藤を抱えたり、自分としっかり向き合ったりと、きっとたくさんの困難を乗り越える体験をされた方もみえるのではないでしょうか。 また仲間と一つのことをやり遂げる達成感を味わったり、一人ひとり異なる存在であることを認め合ったりしながら、グループで学び合う喜びなどを実感していただけた講座になったのではないかと思います。 最後に、日常の現場で本講座の学びが生かされたり、新しく展開されたりしていることを願っています。